

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	尼崎理容美容専門学校
設置者名	学校法人 阪神専修学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
昼間部	理容科		56 単位	6 単位	
	美容科		56 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) 添付書類「実務経験のある教員等による授業科目」 1 単位における授業時間数：30 時間					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに添付 ホームページにて公表 https://www.amaribi.ac.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尼崎理容美容専門学校
設置者名	学校法人 阪神専修学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・10月～2月 各担当講師にシラバスの内容作成を依頼し、取りまとめる ・3月 シラバス作成 ・4月オリエンテーション時に学生に配布 	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>単位認定の規定は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席：それぞれの学年で規定された各科目各単位の授業時間数の85%以上出席。(足りなかった場合は補講を実施) ・成績：各学期の成績評価で3学期とも各教科科目で100点満点のうち60点以上。(60点未満の場合は追試験を実施) <p>成績評価の対象は筆記試験、実技試験、作品、レポート、授業態度等。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績表に成績評価と個人の平均点、学年(学科)およびクラス内での順位を記載。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>成績表に成績評価と個人の平均点、学年(学科)およびクラス内での順位を記載。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の規定は次の通り。</p> <p>①規定されたすべての科目において、単位修得が認定されていること。</p> <p>②学費等が完納していること。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>校則(学生生活のきまり)に記載 オリエンテーション時に説明</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	尼崎理容美容専門学校
設置者名	学校法人 阪神専修学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		昼間課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間／67 単位	570 時間 /19 単位	単位時間 /単位	1440 時間 48/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		8人	0人	3人	32人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 添付資料 2024年度シラバス
成績評価の基準・方法
（概要） 各学期の成績評価で3学期とも各教科科目で100点満点のうち60点以上。（60点未満の場合は追試験を実施） 成績評価の対象は筆記試験、実技試験、作品、レポート、授業態度等。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定の規定は次の通り。 ①規定されたすべての科目において、単位修得が認定されていること。 ②学費等が完納していること。 1. 単位修得の規定 ① その科目の出席規定を満たしていること ② その科目の成績規定を満たしていること 2. 単位修得認定 1) 各学期末に、単位修得認定を行う。 ① その学期における、各科目の単位修得の規定を満たしていること ② 学費の納入が滞っていないこと

学修支援等 (概要) 補講、追試験、補習、再追試、レポート提出、面談
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	人 (%)	7人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 理容所、理容学校			
(就職指導内容) 面談、履歴書の書き方指導、面接指導、校内就職ガイダンス、就職フェア			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師国家試験、メイクアップ検定、ジェルネイル検定、ネイルサロン衛生管理士、認定エステティシャン（フェイシャル/ボディ）アロマセラピー検定、色彩技能パーソナル検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	1人	10%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		昼間課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間／67 単位	570 時間 /19 単位	単位時間 /単位	1440 時間 48/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100 人	81 人	0 人	6 人	30 人	36 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 添付資料 2024 年度シラバス
成績評価の基準・方法
（概要） 各学期の成績評価で 3 学期とも各教科科目で 100 点満点のうち 60 点以上。（60 点未 満の場合は追試験を実施） 成績評価の対象は筆記試験、実技試験、作品、レポート、授業態度等。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定の規定は次の通り。 ①規定されたすべての科目において、単位修得が認定されていること。 ②学費等が完納していること。 1. 単位修得の規定 ① その科目の出席規定を満たしていること ② その科目の成績規定を満たしていること 2. 単位修得認定 1) 各学期末に、単位修得認定を行う。 ① その学期における、各科目の単位修得の規定を満たしていること ② 学費の納入が滞っていないこと
学修支援等
（概要） 補講、追試験、補習、再追試、レポート提出、面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 (100%)	人 (%)	35 人 (78%)	1 人 (2.2%)
（主な就職、業界等） 美容所、ネイルサロン、アイラッシュサロン、美容学校			

(就職指導内容) 面談、履歴書の書き方指導、面接指導、校内就職ガイダンス、就職フェア
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家試験、メイクアップ検定、ジェルネイル検定、ネイルサロン衛生管理士、認定エステティシャン(フェイシャル/ボディ)アロマセラピー検定、色彩技能パーソナル検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92人	5人	5.4%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	100,000 円	840,000 円	210,000 円	その他：施設費・実習費
美容科	100,000 円	900,000 円	240,000 円	その他：施設費・実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
教育支援特待生制度：出席・成績による				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.amaribi.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ①教育理念②学校運営③教育活動④学習成果⑤学生支援⑥教育環境⑦学生の受け入れ募集⑧財務⑨法令等の遵守⑩社会貢献・地域貢献、以上の10項目について実施。 在校生、保護者、教職員、講師などにアンケート及び面談を実施したものを取りまとめた自己評価をもとに、学校評価委員の場で外部委員から意見をもらう。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
県議会議員	令和6年4月～	業界関連議員
市議会議員	令和3年4月～	業界関連議員
保険会社勤務兼商工会議所共済・福祉担当	令和5年3月～	保険業
元保健所職員	令和2年4月～	所轄庁
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.amaribi.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尼崎理容美容専門学校
設置者名	学校法人 阪神専修学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.amaribi.ac.jp
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	卒業生 美容室代表	令和5年4月 ～令和8年3 月末	業界の有識者
非常勤	卒業生 前本校学校長	令和5年4月 ～令和8年3 月末	業界の有識者
非常勤	卒業生 美容室代表	令和5年4月 ～令和8年3 月末	業界の有識者
(備考)			

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H128310000272
学校名 (〇〇大学 等)	尼崎理容美容専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 阪神専修学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		25人	22人	22人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	15人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	人	人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				22人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。